

政策シート

2025年度	(管理番号)					担当課名
	分野	基本政策		政策		障害者更生相談所
	05	01	01	04	01	

政策
障がいのある人の社会参加・リハビリテーションの推進

政策の内容

障がいのある人の社会参加を促進し、生活の質の向上を図るため、福祉サービスや補装具の利活用を支援するとともに、社会生活等のリハビリテーションを推進します。

生活満足度に関する指標(個別指標)

指標名	質問文	基準値 2024年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
障がい者福祉の充実	あなたの暮らしている地域は、障がい者が暮らしやすい環境だと感じますか。	2.48	2.53				

※総合計画基本計画に係る市民意識調査(アンケート)の結果

現状・課題

障がいのある人が地域でいきいきとした生活ができるように、市民や福祉サービス事業所職員等を対象とした地域リハビリテーション推進事業を実施している。
課題として、一部事業については恒常化しているため、事業の見直しが必要となっている。このため、市民アンケート等を実施することでニーズを把握し、今後の取り組みについて検討する必要がある。
今後も、障がいのある人の社会参加の促進と生活の質の向上を目指し、市民ニーズに沿った事業を実施することで政策の一層の推進を図る必要がある。

政策コストの状況(千円)	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
予算	4,019				
決算	3,652				

※「①事業活動(アクティビティ)」の予算・決算の合計

人工	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
正規職員	9.4				
会計年度任用職員	6.0				
暫定再任用職員(31時間勤務)	0.0				
暫定再任用職員(26時間勤務)	0.0				

※福祉事業所の人工を含む

①事業活動(アクティビティ)

事業名	事業内容	2025年度 予算 (千円)
		2025年度 決算 (千円)
地域リハビリテーション推進事業	1 聞こえと補聴器なんでも相談会 聞こえのしくみなど医学的なことを知りたい人、補聴器について知りたい人、会話や電話が聞き取りにくい人、補聴器に不具合がある人、補聴器を使っても音や言葉が聞き取りにくい人などに対し、医師による講演や認定補聴器技能者による相談会を実施する。	916
	2 補装具出張相談会 義肢、装具や補聴器の補装具を装着している人で、補装具に不具合が生じている人に対して総合相談や医師(整形外科医師、リハビリ科医師)等による医学的な相談をすることで、福祉の向上を図り医療・福祉サービスに繋げる。 3 施設職員等研修会 障がいのある方やその家族が、住み慣れた地域で安心して暮らすために、福祉サービス事業所職員等を対象に、障がいの種類、特性、生活への影響等を学び、多様化する障がいへの理解を深め、支援者のスキル向上に務める。	679
身体障害者・療育手帳交付事業	1 身体障害者手帳 身体障害者福祉法別表に掲げる障がいのある人に身体障害者手帳を交付する。	3,103
	2 療育手帳 療育手帳制度について(厚生事務次官通知)により、療育手帳を交付する。	2,973

※予算・決算は各事業に係る経費を計上

②活動(アウトプット)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
地域リハビリテーション推進事業の実施数(回)	主要事業における相談会・講演会等の実施数 ※毎年度の実績	市民及び福祉サービス事業所職員等の相談会や研修会を実施することにより「地域リハビリテーション推進事業への参加者数」の指標を評価することができる。	目標値	-	4	4	4	4	4
			実績値	4	4				
			達成率	-	100%				
			目標値	-					
			実績値						
			達成率	-					
			目標値	-					
			実績値						
			達成率	-					

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

③短期成果(アウトカム)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
地域リハビリテーション推進事業への参加者数(人)	主要事業における相談会・講演会等への参加者数 ※毎年度の実績	障がいのある人の社会参加を促進し、生活の質の向上を図るための事業を実施することから本指標を設定した。 この指標の向上により「地域リハビリテーション推進事業への延べ参加者数」の向上につながる。	目標値	-	150	150	150	150	150
			実績値	159	132				
			達成率	-	88%				
			目標値	-					
			実績値						
			達成率	-					

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

④長期成果(アウトカム)指標

指標名	基本計画 指標	指標の定義		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度	目標値 2034 年度
地域リハビリテーション推進 事業への延べ参加者数 (人)		主要事業における相談会・ 講演会等への参加者数 ※累計値 ※指標を変更したため、 2024年度実績値は未記入	実績値	-	132					1,500
			達成率	-	9%					
			実績値							
			達成率							
			実績値							
			達成率							

※達成率は2034年度の目標値に対する実績値から算出する。

⑤目的:10年後(2034年)の理想の姿

行政、地域、福祉関係団体など多様な主体がつながることにより、支え合う社会が実現し、誰もが安心して暮らしている。

【2025年度の評価】

「①事業活動(アクティビティ)」の実施内容と事業改善(2026年度記載)

事業名	実施内容	事業改善の内容や今後の方向性
地域リハビリテーション推進事業	1 聞こえと補聴器なんでも相談会 聞こえのしくみなど医学的なことを知りたい人、補聴器について知りたい人、会話や電話が聞き取りにくい人、補聴器に不具合がある人、補聴器を使っても音や言葉が聞き取りにくい人などに対し、医師による講演や認定補聴器技能者による相談会を実施した。(1回開催 参加者数88人) 2 補装具出張相談会 義肢、装具や補聴器の補装具を装着している人で、補装具に不具合が生じている人に対して総合相談や医師(整形外科医師、リハビリ科医師)等による医学的な相談を実施した。(2回開催 参加者数10人) 3 施設職員等研修会 障がいのある方やその家族が、住み慣れた地域で安心して暮らすために、福祉サービス事業所職員等を対象に研修会を実施した。(1回開催 参加者数34人)	引き続き、相談会及び研修会を実施し、障がいのある人の社会参加を促進し、生活の質の向上を図る。

「②活動(アウトプット)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	否

「③短期成果(アウトカム)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	否

2025年度の政策の評価と2026年度以降の取組の方向性(2026年度記載)

・地域リハビリテーション推進事業への延べ参加者数は目標値に達しなかったが、事業や事業の実施回数の指標はおおむね順調であった。聞こえと補聴器なんでも相談会では、高齢者の加齢に伴う難聴について関係部署と連携し開催方法等を検討する。補装具出張相談会では、引き続き各区での相談会を順次開催するが、内容や対象者の選定方法等を見直し、真に相談やリハビリテーションを必要とする人に対象者を絞り、適切な相談等を実施することにより、効率的・効果的な事業を実施していく。また、施設職員研修会では、テーマや講師の工夫やオンライン開催の拡充なども検討し、より多くの事業所職員が参加できる環境を整え、間接的ではあるが、広く障がいのある人への支援を実施していく。
--